

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立嬉野中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上では、西部型授業が定着し、さらに課題解決に向け意図的・計画的に「書く活動」「話し合う活動」等を組んだ結果、思考力・判断力・表現力が向上した。家庭学習習慣の定着にまだ課題があり、取組を強化する必要がある。 ・不登校対策では、家庭や関係職員、関係機関との連携を密にとり、誰か・どこかにつながりをもつことで学校との関係を保持し、その結果不登校を改善することができた。情報の引継ぎを丁寧に行い、継続して支援を行う必要がある。 ・いじめ対策では、観察やアンケート等で覚知したあとの対応を、迅速かつ丁寧にすることができた。SNSいじめやコロナいじめなど様々ないじめ問題への対応が必要だが、今後は特にSNSを介したいじめの予防に力を注ぐ必要がある。 ・ICT利活用教育では、授業やオンライン学習でのタブレット端末の活用を進めることができた。しかし、ネットワーク環境に課題があり、授業での活用が大きくは進まなかった。今後は多方面に働きかけ、ネットワーク環境の改善をする必要がある。

2 学校教育目標	<p>夢に向かう颯爽とした生徒の育成 ～「嬉中まなび力」「嬉中しぐさ力」「嬉中きずな力」～</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習意欲……個に応じた指導やICT利活用教育の推進を図り、学習意欲の向上に努める。 2 生活習慣……家庭との連携を強化し、基本的な生活習慣の定着を図る。 3 人権意識……様々な価値観や違いを認め合う人間関係作りを推進する。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○学習意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上 ○「計画的に家庭学習をしている」生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉野メソッドの授業を徹底する。 ・授業に適切な言語活動を設定する。 ・家庭学習について個に応じた指導をする。 ・ICT機器を活用し、わかる授業づくりを行う。 			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○基本的なしぐさに基づいた、挨拶と毎日の丁寧な掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自他の生命や人権を尊重している」生徒90%以上 ○「いじめを受けていない、いじめをしていない、いじめを見逃していない」生徒95%以上 ○「挨拶をすんでしている」生徒85%以上 ○「掃除を丁寧にしている」生徒85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和教育、道徳等において人権の視点に立った授業や体験活動を行う。 ・コミュニティ・スクールを活用し、地域との連携を充実させる。 ・「いじめ」に関する定期的な指導と注意喚起を行い、予防と撲滅に努める。 ・情報リテラシーについての知識を高め、SNSの危険性への意識を高めさせる。 ・挨拶の目的と意味を知らせ、場に応じた挨拶の仕方を指導する。 ・掃除では、年度初めに掃除の仕方を身につけさせ、継続的に指導を行う。 							<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和教育 ・道徳教育 ・学校行事企画 ・コミュニティ・スクール ・生徒指導 ・教育相談 ・生徒会
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○望ましい生活習慣の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒95% ○「時間を意識して、生活を送っている」生徒85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と連携し、給食時の放送等で給食への関心を高める。 ・学校栄養職員と連携し、必要な栄養について知識を深め、自己の健康管理を意識させる。 ・家庭での学習時間や生活リズムについて振り返らせ、生活の見直しにつなげる。 							<ul style="list-style-type: none"> ・給食指導・食育 ・研究主任 ・校内研生活習慣部会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を適切に設定する。 ・部活動休養日を適切に設定する。 ・効果的・効率的な業務推進をする。 							<ul style="list-style-type: none"> ・管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育の理解を深め、個に応じた指導・支援に努力している」教師85%以上	・支援を要する全ての生徒に対して、個別の支援計画を作成し活用する。 ・UDを意識した教室環境や板書の仕方等、生徒の状況に配慮した指導を共通実践する。			
◎キャリア教育の充実	◎将来の夢や進路について、自分の考えを持つことができる生徒の育成	◎「将来の夢や進路について、自分の考えをもっている」生徒80%以上	・キャリア教育を推進し、自分の将来について考える機会をつくる。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---